

令和8年度 学校経営シラバス

北海道松前高等学校長 上村 晴美

校訓	言(誠実) 力(励行) 倉(創造)	学校教育目標	1 自ら学び自ら考え積極的に行動する人 2 規律を守り心身ともにたくましい人 3 他を思いやり郷土愛と広い視野を持つ人
スクールミッション=本校の存在意義・社会的役割 1 地域の高校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通じて、地域の未来を創っていく生徒の育成 2 向学心や探究心を身に付け、人間愛と郷土愛に溢れる、地域社会で活躍する人材の育成 3 全ての生徒の自己実現を図り、無限の可能性を引き出し、夢を叶える学校づくり			
ス ク ー ル ポ リ シ ー			
グラディエーションポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)		カリキュラムポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)	
(1) 探究力：自ら問いを立て、グローバルな視点で情報を集めて分析し、自分なりの答えや新たな問いを導き出すことができる (2) 共創力：多様な価値観を有する他者と協働しながら、社会に変化をもたらす新たな価値を創造することができる (3) 自己実現力：自分自身の可能性を最大限に引き出し、自分らしく生きるために目標を設定し、実現に向けて努力することができる		(1) 多様な進路希望に対応した学びの機会を提供し、すべての生徒の自己実現に向けた努力を支え、個に応じた指導を充実させる。 (2) 「松前学」「書道教育」「国際理解教育」を三本柱として、地域と連携した教育活動を展開し、グローバルな視点をもった地域社会の担い手を育成する。 (3) 探究的な学びを通して、自らの在り方・生き方と向き合いながら、自分らしさを育む実践を推進する。	
アドミッションポリシー(入学者の受け入れに関する方針) 1 「ふるさと松前」や「書道」、「国際理解」に興味・関心をもつ生徒 2 他者との関わりに前向きな姿勢を持つ生徒 3 物事に真摯に取り組み自己を向上させようとする生徒			

重点目標	持続可能な松前高校の構築 ～全ての教育活動の充実、地域連携、積極的な情報発信、入学生徒の確保				
具体策	(1) 地域の教育資源の活用=三本柱「書道教育」「松前学」「国際理解教育」を地域とともに展開 地域の子を地域で育てる (2) 地域振興への参画=探究活動等を通して関係企業・機関とのコラボ事業の実施 将来の地域社会を支える人材を育てる (3) 地域社会や他校種との連携=地域行事への参加、地域の教育資源の活用、小中学校と連携したキャリア教育の実践		(4) 現状の本校の良さを内外に強くアピールする ・きめの細かい教育の実践 ・充実した教育相談活動 ・高い進路実績 ・地域連携 ・学校運営協議会 ・教育振興会 (5) 目指す教師像 ・教師力、授業力 ・若さと情熱と愛情 ・仲間と協働 ・生徒とともに学び続ける教員		
領域	対象	中期目標	今年度の目標	目標達成のための評価の観点	評価
教 育 活 動	学習指導	○生徒のやる気を引き出し、「勉強嫌い」を作らないための授業改善の実践	<ul style="list-style-type: none"> 「松前学」「書道教育」「国際理解教育」の三本柱を中心に、学習の基礎基本の定着を図る。 生徒の興味・関心・意欲・態度・能力等を把握し個に応じた指導および探究活動を充実させる。 地域と連携した主体的な探究活動及び異文化交流や自発的な読書活動を推進する。 ICT を効果的に使用し、授業実践及び研修に積極的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の教育資源を活用した教育活動を展開し、ふるさとに誇りを持たせる授業を実践したか。 生徒の興味・関心・意欲・態度・能力等を把握し、個に応じた指導および探究活動を充実させたか。 地域と連携した主体的な探究活動及び異文化交流や自発的な読書活動を進められたか。 ICT を効果的に使用し、生徒一人一人がわかる実感のある授業の実践および探究ゼミを中心に個別指導を工夫できたか。 	
	生徒指導	○卑怯を憎み他を思いやる心や公共の精神、「学校嫌い」を作らないための良好な人間関係の構築、規範意識の育成	<ul style="list-style-type: none"> 個性や自立心を尊重しつつ、卑怯を憎み他を思いやる心を育成する。 教育相談活動や各種行事を充実させ、個々の生徒の内発性を喚起する。 多様性を理解し、特別支援、インクルーシブ教育等に関する研修を深める。 日常の規範指導や挨拶、丁寧な清掃活動を通して、自律心や奉仕の精神を育成する。 部活動や生徒会活動を活性化し、達成感や充実感、自己肯定感を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の教育活動全般を通じ、卑怯を憎み他を思いやりいじめを許さない意識が醸成されているか。 生徒の内発性を喚起する教育相談活動及び問題行動防止のための各種行事が効果的に行われているか。 多様性を理解し、特別支援教育、インクルーシブ教育等に関して、研修を深められたか。 挨拶の励行、地域活動やボランティア活動、丁寧な清掃活動に主体的に取り組んでいるか。 部活動や生徒会活動を通して生徒の達成感や成就感・自己肯定感を高めることができたか。 	
	進路指導	○内発性を高め、自らを活かし社会に貢献していこうとする意欲の育成	<ul style="list-style-type: none"> 将来、地域社会に広く貢献する人材育成を目指し、関係機関、小中学校、地域社会と連携したキャリア教育を推進する。 基礎的汎用的能力及び強靱な人間力の育成を図り、生徒一人ひとりが高い目標を持ち主体的に自らの進路選択やキャリア形成に取り組む態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> キャリアパスポートを活用し、関係機関、小中学校、地域社会と連携したキャリア教育の推進ができたか。 基礎的汎用的能力及び強靱な人間力を育み、生徒の内発性を高め、高い志を持たせるキャリア教育がなされたか。 進路シラバスやキャリアパスポートを適切に活用し、生徒の進路希望の早期 確定、進路実現、キャリア形成に向けた主体的な活動を促しているか。 	
	健康・安全指導	○心身ともに健康で逞しく生き抜く力の育成	<ul style="list-style-type: none"> 心身ともにたくましく、自主的に健康管理のできる人間の育成を図る。 環境美化に対する意識の向上を図り、持続可能な社会を目指す心豊かな人間の育成を図る。 自分の身は自分で守ることを基本とした防災意識・危機管理意識の徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの健康管理に関心を持つ態度が育成されたか。 主体的に環境美化に努める態度が育成されたか。 自分や他人の安全を守る意識が向上したか。 	

学 校 運 営	信頼される学校づくり	○選ばれる魅力ある学校づくり ○地域と連携した学校づくり ○「いい子は函館に」的文化的の払拭	<ul style="list-style-type: none"> 生徒、保護者、地域の負託に応える教育活動の実践 学校運営委員会との連携、学校評価の改善と学校評価結果の学校改善への活用 保護者、地域関係機関、企業、異校種と連携した教育活動の実施 地域・保護者に認められる生徒の進路目標の達成 全国募集のための広報活動の積極的実施 	<ul style="list-style-type: none"> 負託に応える教育活動、及び「日々の教育活動が生徒募集に繋がる」という意識の共有ができてきているか。 学校運営協議会での議論や学校評価結果を踏まえた改善策の見える化が図られているか。 保護者や地元関係機関、企業、小中学校等との双方向の連携が図られているか。 地域社会・保護者と協働したキャリア教育がなされているか。 効果的な広報活動が展開できているか。 	
	組織運営	○チーム学校として関係機関とも協働して学校課題に教職員が一丸となって取り組む学校組織 ○働き方改革の推進 ○業務のマニュアル化	<ul style="list-style-type: none"> 教員個々の教科指導力・生徒指導力及び組織の同僚性・協働性・機動性を高め、学校力の向上を推進する。 CS 組織や地域との関係機関と連携協働して教育活動にあたる。 教職員の心身の健康保持に向上、業務改善及び勤務時間管理を適切に実施し、特に部活動指導について働き方改革を積極的に推進する。 業務のマニュアル化を進め、業務の属人化からの脱却を図り、危機管理意識の向上及び持続可能な学校運営を進める 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の教科指導力・制度指導力及び組織の同僚性・協働性・機動性を高め学校力の向上推進がなされたか。 CS 組織や地域との関係機関と連携協働しての教育活動がなされたか。 業務改善及び勤務時間の管理が適切になされ、部活動その他について働き方改革が進んでいるか。 業務のマニュアル化を進め、業務の属人化からの脱却を図り、危機管理意識の向上及び持続可能な学校運営を進められているか。 	
	教職員の資質向上	○教職員としての使命感や倫理観の高揚 ○教師としての力量の向上	<ul style="list-style-type: none"> 服務規律の保持及び危機管理意識の向上 研修の充実 ミドルリーダーの養成 	<ul style="list-style-type: none"> 服務規律の保持等不祥事防止が確実に履行され、危機管理に関して当事者意識を持っているか。 校外外で実施される研修に積極的に参加し、謙虚に学び、その成果を還元しているか。 自ら学校経営に参画している意識を持てたか。 	